

「校長室の窓から」<https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/nishiwakikita-hs/>

令和8年(2026)8月7日(金)

第26号 発行: 隈元 優一

☎0795-22-5850/FAX: 0795-22-7359

信頼される学校であり続けるために 一校内研修「非違行為の防止と心構え」

▲ 不祥事の状況について説明

8月6日、兵庫県教育委員会事務局教職員人事課より管理主事を講師としてお招きし、「非違行為の防止と心構え（こども性暴力防止法を踏まえた研修）」をテーマに校内研修を実施しました。

研修では、近年の教職員による不祥事の状況や懲戒処分 of 事例について確認するとともに、子どもを性暴力から守るために制定された「こども性暴力防止法」の趣旨や、教職員として求められる高い倫理観と責任について学びました。

また、生徒との信頼関係は教育活動の基盤である一方で、教師と生徒との間には適切な距離感が必要であること、生徒から相談を受けた際や不適切な言動を見聞きした際には、一人で抱え込まず組織として対応することの重要性についても理解を深めました。

研修では、具体的な事例をもとにしたグループ演習も行われました。先生方はそれぞれの立場や経験をもとに活発な意見交換を行い、「子どもたちを守るために何ができるか」という視点から真剣に協議していました。多様な考え方や対応方法を共有することで、日頃の教育活動を振り返る貴重な機会となりました。



▲ グループ演習の様子

多くの教職員は日々誠実に職務に励んでいます。しかし、一部の不適切な行為が学校や教職全体への信頼を大きく損なうことも事実です。だからこそ、「自分は大丈夫」と考えるのではなく、一人一人が当事者意識を持ち、自らの言動を見つめ直しながら職務に当たることが大切です。

研修を通して改めて確認したのは、「自分だったらどうするか」と考える当事者意識、「その行動がどのような結果をもたらすか」を想像する力の重要性です。

私たち教職員は、法令や服務規律を遵守することはもちろん、生徒たち一人一人の尊厳と安全を守る責任を担っています。今後も教職員が互いに声を掛け合い、支え合いながら、安心して学び成長できる学校づくりに努めてまいります。



▲ 講師 県教委 藤原管理主事

「信頼は日々の積み重ねによって築かれ、失うのは一瞬である。」この言葉を胸に刻み、今後も保護者や地域の皆様から信頼される学校であり続けたいと思います。